

# 花沢アイクリニック通信

第158号

R6年2月



## 常に防災意識をもちましょう



こんにちは。院長の梅津由子です。

まるで太平洋側のような晴天の日が続いたと思えば、警報級の寒波が到来し一晩に数十センチの積雪があったりと、目まぐるしく変わる天気にも翻弄されている今年の冬、皆様いかがお過ごしですか？

今年は元旦から能登半島の大きな地震があり、日を追うにつれ亡くなった方の数が増え、倒壊した家屋、焼け落ちた朝市の建物、分断された道路などの映像が報道されるたび、被害の深刻さに心が痛みます。せめて多少の義援金でお役に立てたらと思っています。実際1月末で100億円以上の義援金が集まったとのこと。被災された方の生活が少しでも早く改善されることを祈ります。

今回の能登半島地震について専門家は活断層がずれて起きた可能性があると指摘しています。ここ米沢では過去の大地震の際も大きな被害を受けることなく、幸運なことと思いますが、山形県内にも地震を引き起こす活断層は存在します。県内では主に4つの断層帯が地震を引き起こす活断層とされています。



米沢市に最も被害を与える地震を引き起こすのは、「長井盆地西縁断層帯」で、長井盆地の北方から長井盆地西縁、米沢盆地西縁部にかけて分布している一連の断層の集まりです。長さは約51kmで南北方向に伸びています。最近では約2400年前に断層活動があったと考えられており、活動間隔は5000～6300年程度と推定されています。活動があった場合、山形県の地震被害想定では、米沢

市内で震度5強～7程度の揺れが発生し、最大で約2万2千棟もの建物が倒壊する可能性があるとして推定されています。地震発生確率は、30年以内に0.02%以下で、あまり危機感を感じる数字ではありませんが、地震に限らず、大雨などに対しても常に防災意識をもって生活していきましょう。



〒992-0022 米沢市花沢町2695-1  
0238(40)0606

土曜日は昼休みなく、8:30～14:00まで受付です。

受付時間	月	火	水	木	金	土
8:30～12:00	😊	😊	😊	😊	😊	😊
2:00～5:30	😊	😊		3:00   6:30	😊	2:00 まで

# 目玉いきいきライフ

目玉いきいきライフのコーナーでは、目の健康に関する情報や、耳より情報（眼科だけどっ）をお届けします。



## し の う く ん れ ん し 教えて！視能訓練士さん



今回は、OCT（光干渉断層撮影）・OCTA（光干渉断層血管撮影）についてのお話です！

OCTは、光干渉を用いて10層から成る網膜の層構造を可視化できる器械です。網膜の10層の状態を可視化することで、疾患の原因を見つけることができます。

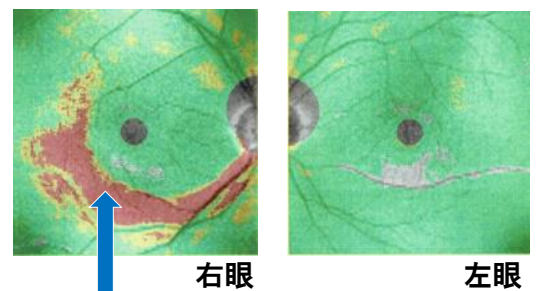
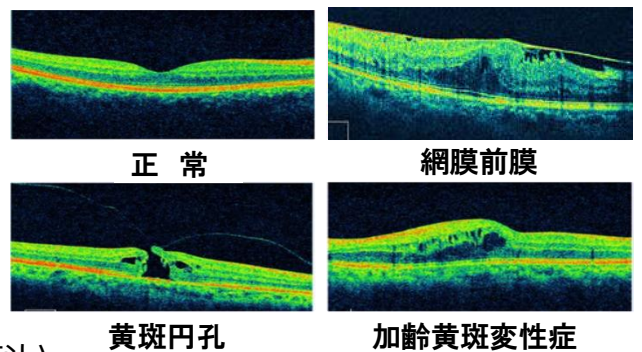
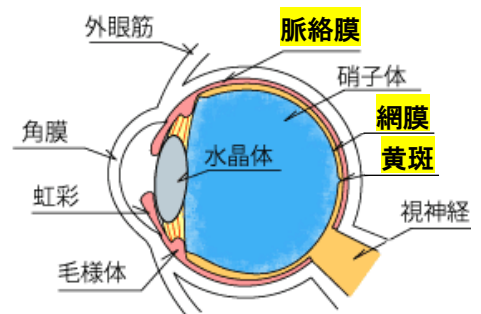
とうによびょうもうまくしやう 糖尿病網膜症、ちゆうしんせいしやうえきせいみやくらくもうまくしやう 中心性漿液性脈絡網膜症、かれいおうはんへんせいしやう 加齢黄斑変性症、おうはんえんこう 黄斑円孔、もうまくぜんまく 網膜前膜などでは、おうはんぶしゆ 黄斑浮腫と言って網膜の中心や一部分に腫れが出ることがあります。その腫れの状態をOCTの断層画像で確認することができます。

また、網膜の厚みを調べることは、緑内障の診断に有効です。緑内障になると、網膜の細胞が欠損することで正常の人と比べて薄くなり、そこに対応した視野が欠けて見えづらくなります。

OCTAは、血液中の赤血球からの反射を利用して、網膜の血流状態を調べます。血液が流れていない無灌流領域や、網膜の酸素不足により出来る、もろく破れやすい新生血管を検出することができます。糖尿病網膜症や網膜静脈分枝閉塞症などによる網膜の虚血性変化の評価と治療に役立ちます。

近年までは、血流を評価する検査は蛍光眼底造影検査が主流でしたが、造影剤に対するアレルギーの心配や点滴のルート確保が必要であり、患者さんの負担が大きい検査です。しかし、OCTAは造影剤を用いることなく、頻回に撮影することが可能です。現状では撮影範囲に制限があるものの、血管閉塞領域の判定が容易になり、検査も比較的簡便で、蛍光眼底造影に似た画像が得られるため、今後の画像診断において重要な検査です。

しかし、これまでの撮影より長く瞬きを我慢してもらうこと、顔や目を動かさずにまっすぐ前の視標を見続けることが必要になるので、ご協力をお願いします。



右眼は、緑内障により網膜が薄くなっている部分が赤色で表示されている。左眼は正常。

### ～編集後記～

ただ今、新・美容メニュー「ひげ脱毛」の準備中です。詳細は、また後日お知らせしますので、もう少しお待ちください！

モモ・ビビ・まめちよ

